

日)

2021/02/05

研究に関するお知らせ
(研究課題名：機械学習を用いたCT
画像によるCOVID診療戦略アルゴリズムの構築)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 救命救急センター救急科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

意義：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の診断はPCR検査が標準検査であるが検査結果が出るのに時間がかかるので、すぐに結果がでるCT検査を併用することが多い。日本の臨床現場において新型コロナウイルス感染症を診断するための有用なAI（人工知能）モデルの作成には、日本の患者背景を反映したデータ入力が必要であると考えますが、現時点ではそのようなデータはない。日本でのデータを集めそれを用いてAIモデルを作成し、CT画像と臨床データからCOVID感染を予測する機械学習モデルを構築しその予測能力を検証すること。

目的：CT画像からCOVID-19感染を予測する機械学習プログラムを構築するため

方法：COVID-19患者のCT画像を用いて、画像を自動で認識するプログラムを作成する

■研究期間

理事長承認日～2023年3月31日

■研究の対象となる方

- ・当院に入院したCOVID-19もしくはCOVID-19が疑われた患者さんで、2023年3月31日までに当院で胸部CT検査を受けた方
- ・2010年1月1日以降に当院で肺炎疑いもしくはスクリーニングの一環で胸部CT検査を受けた方

■ご協力頂く内容

試料：特にございませぬ。

情報：CT画像、採血検査結果、微生物検査結果、画像診断科の読影レポート等

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報等を研究に使用させていただきます。使用に際して

は、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が

日)

特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

■研究組織

大阪急性期・総合医療センター 岡田直己
国立国際医療研究センター病院 小林憲太郎
株式会社 fcuro

■利益相反について

本研究は、内閣官房から委託された三菱総研より資金提供により、委託研究として実施します。また AI モデル作製およびデータ解業務は株式会社 fcuro が行いますが、当該企業の意向にて研究結果や発表に不当な影響を与えることはありません。本研究全体において生じる利益相反及び研究者個人の利益相反は、NCGM 利益相反マネジメント委員会に事前に申告し、審査結果に即して適切に管理・公表します。研究開始後も利益相反状態について適切な時期に再申告を行い、継続して利益相反を管理・公表します。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお問い合わせ先までお申出下さい。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。
ご希望

される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 救急科 小林憲太郎

■本研究全体の研究代表者：

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 岡田直己

■お問い合わせ先

東京都新宿区戸山1-21-1
国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科
研究責任者：小林憲太郎

日)

電話 : 03-3202-7181 内線5916

■掲示場所・交付場所

救命救急センター 救急外来

国立国際医療研究センターホームページ (救急科のページ内)

<http://www.hosp.ncgm.go.jp/emergency/050/rinshoukenkyuu.html>